

# 輝きなんせ鳥取

2014.3  
第21号



1/14 「輝(き)なんせ鳥取」講座 講師:辻 由起子さん

## —目次—

- 平成25年度「輝(き)なんせ鳥取」講座  
支配と愛の構造で考える  
～DVから子ども虐待へ～  
講師:辻 由起子さん ..... 2
- 「輝なんせ鳥取」講座徒然記  
1/19 女性のための  
コミュニケーション力養成セミナー  
1/26 デキる!男の料理教室  
..... 5・6
- DV・・・ひとりで悩まないで ..... 3・4

# 支配と愛の構造で考える

## ～DVから子ども虐待へ・・・～



平成25年度鳥取市男女共同参画センター「輝(き)なんせ鳥取」講座  
(平成26年1月14日 於:鳥取市人権交流プラザ)

講師:辻 由起子さん



社会問題として深刻化しているDV(ドメスティック・バイオレンス)は犯罪であり、児童虐待やDVの連鎖にもなり得ることへの理解を深めることが必要です。

大阪府認定子ども虐待防止アドバイザーの辻由起子さんを講師にお招きし、DVや児童虐待を引き起こす要因を探ることにより、周囲がどのようにかわれば防止、支援などができるのか、会場の皆さんと一緒に考えてみました。

### レポート

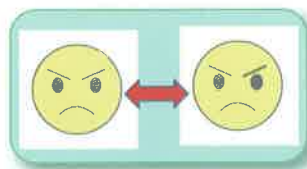
辻さん自身も夫からDVを受け、離婚後一人で看護・仕事・出産・育児・家事をこなしながら、通信教育で大学を2回卒業、現在は大阪府子ども虐待防止アドバイザーとして、多岐にわたって活躍されている。机上の空論でなく、本音で語りながらだったので、思わず話に引き込まれた。配偶者からの身体的暴力・精神的暴力・性的暴力・経済的暴力・人間関係を管理する社会的暴力と様々である。自分が愛されているのか、支配されているのか(DVを受けているのか)、分かりにくい。それは、DVする人がいつもひどいことばかり相手に対してするのかということそうではないからである。相手からDVを受けているという自覚のないままに、傷つけられ続けている人も多いのではないかと。また、DVを見た人の脳が委縮するという福井大学の報告もあった。11～13歳の子どもの脳は、暴力より暴言の方が深刻な影響を与えると言う。

共稼ぎ家族が増えているが、子育てを男性が担う時間は、世界の中でも日本は極めて少ない。日本の女性は、仕事・家事そして子育てという多くの負担を抱えていることが多い。子育ての大変さについて、妻が働き自分が育児をされた「イクメンパフォーマーの、さと原人」さんの「ところが折れそうになる」との言葉があったように、男性も葛藤されている。共感してくれる仲間の存在が不可欠だ。私も人に話を聞いてもらって、楽になったことを思い出した。自分の子どものおしっこがいつかおむつのCMのように青色になると信じていた母親の話は笑えない深刻さである。(記:岸本編集委員)

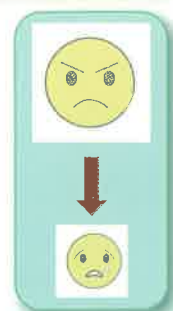
### 参加者の感想より(抜粋)

- ★心に残るすてきなことは、はっとさせられる話がたくさん聞けた。いつまでも心に留めて笑顔で過ごしていきたい。
- ★涙を流しながら、笑いながら聴かせていただいた。
- ★たとえ傷ついても、人間には必ず回復するパワーがあるという言葉は何回も聞いてきたが、今、特にそれを信じたいという思いでいっぱいです。

### けんかや支配の違い



対等



支配

参考:辻由起子さんの講演資料より



# DV・・・ひとりで悩まないで

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、親密な関係にあるパートナーまたはあった人からの「暴力」のことをいい、犯罪となる行為を含む重大な人権侵害のことをいいます。

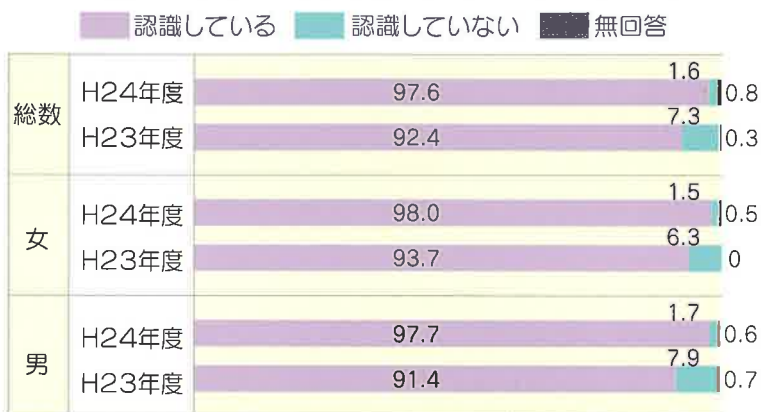
ここでいう「暴力」の形はさまざまで、身体的・精神的・経済的・性的など、多面的な要素を含み、多くの場合その被害者は女性です。

## 鳥取市男女共同参画簡易意識調査より

鳥取市では20歳以上の市民800人(男女400人ずつ)を対象に簡易意識調査を実施しています。

**問** DV(ドメスティック・バイオレンス)は重大な人権侵害であり、犯罪であるということを認識していますか。

### DVは人権侵害・犯罪であるという認識



男女共に9割以上が「認識している」とありますが、依然としてDVの数は減らず、殺傷事件に発展したり、低年齢化が進むなど深刻な社会問題となっています。

実際に暴力を受けていてもDVと気付かない、あるいは相談するほどのことではないと思う人、自分さえ我慢すればなんとかこのままやっていけると思う人など、周囲に相談しないで抱え込んでしまう人が多いのが現状です。

## 暴力の形態

### 身体的暴力

- 殴る、蹴る、つかむ
- 首を絞める、髪を引っ張る
- 物を投げつける
- 凶器を使う

### 経済的暴力

- 生活費を渡さない
- 働かせる・働かせない
- 金銭的自由を与えない
- 無断で借金を重ねる

### 精神的・社会的暴力

- 馬鹿にする
- 無視する
- 子どもに危害を加えると言って脅す
- 家族や友達に会わさない
- 子どもに悪口を吹き込む
- メールや電話などを細かくチェックする

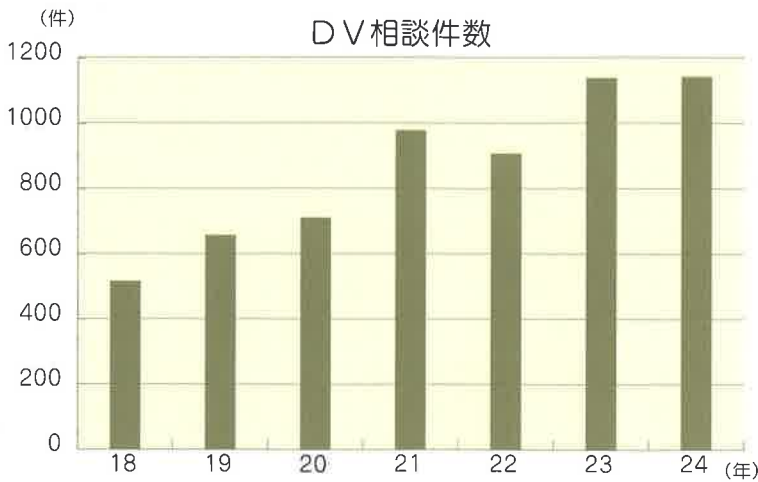


### 性的暴力

- 無理強いなセックス
- 避妊に協力しない
- 性的な体の部分についての暴言
- 見たくないのにポルノ雑誌やAVを見せる

## 鳥取県の現状より

### 配偶者暴力相談支援センターなどで受けた相談件数



「夫婦げんかぐらいは誰でもする」、「子どもが幼く経済的に不安」「子どもには父親（母親）の存在が必要」と我慢している生活が、子どもに深刻な影響を与えているかもしれません。

DVのある環境で育つ子どもたちは、いつ暴力が始まるのか予測できず常に不安な気持ちでいます。

また、家庭の中にDVがあることは子どもの脳の正常な発達を阻害し、また子どもに対する虐待にもつながります。

本人や周囲の早め早めの相談が、事態の深刻化を防ぐカギとなります。

同棲していない恋人同士の中で起こる暴力等を「デートDV」と呼んでいます。

# デートDVも多発しています！

## あなたの周りにこんな人はいませんか？

- 今まで楽しんできたことに興味を示さなくなった。
- 異常に携帯電話を気にし始めた。
- 以前よりもつきあいが悪くなった。
- 予定やアポをドタキャンすることが増えた。
- 常に相手の機嫌や顔をうかがっている。
- 体重、外見、成績が大きく変わった。
- たまにキレて物を壊したり投げたりする。
- 自分のからだにできた傷について、隠したり説明できなかつたり、あるいは説明が不自然である。
- 相手から傷つけられたことを笑いながら話すことがある。



## そんな態度が見られたら、DV にあっている可能性が高いと言えます。

DVは、ごく一部の人の問題ではありません。簡単に見分けられるものではありませんが、私たちの身近でおきています。日常の支援活動の中で、安心して相談できる場があることをお知らせください。

### 配偶者暴力相談センター

- ・ 福祉相談センター ☎0857-27-8630
- ・ 中部総合事務所福祉保健局 ☎0858-23-3147  
0858-23-3152
- ・ 西部総合事務所福祉保健局 ☎0859-31-9304
- ・ 夜間休日電話相談 ☎0858-26-9807  
（夜間：午後 5 時 15 分～午前 8 時 30 分）  
（休日：午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分）

### 警察

- ・ 警察総合相談電話 ☎0857-27-9110
- ・ 警察本部性犯罪 (110番) ☎0857-22-7110

### 女性問題に関する相談窓口

- ・ 男女共同参画センター ☎0858-23-3939  
【よりん彩】  
（受付：火～日 午前 9 時～午後 5 時）
- ・ 東部相談室 ☎0857-26-7887
- ・ 西部相談室 ☎0859-33-3955  
（受付：月～金 午前 9 時～正午  
午後 1 時～午後 5 時）

\* 但し、  
第 3 木曜日は午前 9 時～午前 11 時 30 分

鳥取市児童家庭課 ☎0857-20-3463



編集委員の

「輝なんせ鳥取」 つれづれき

# 講座徒然記

「輝なんせ鳥取」は学習、交流、情報交換など男女共同参画社会の実現を目指したあらゆる活動の拠点施設です。不定期に講座も開催しています。今回は、1月19日、26日に開催された講座の様相を紹介します。

## 女性のための コミュニケーション力養成セミナー

(1月19日 研修室1)

～表現しようワタシの気持ち～

講師：繁原美保さん (e.らぼ 女性と子どものエンパワーメント 代表)



### 「自分も相手も大切にすること」

[アサーティブに生きる]ワークショップに参加しました。「アサーティブ」とは、自己主張すること。「アサーティブである」ことは、自分の要求や意見を、相手の権利を侵害することなく、誠実に、率直に、対等に表現することなのだそうです。当たり前といえば当たり前のように感じますが、では、普段から当たり前実践できているのだろうか？夫や子どもに接するとき、友人と話すときはどうだろうか？、とドキリとしました。

人は、「何を言っても大丈夫」と安心して受け入れてもらえる場所でなければ、なかなか素直な本心は語れないものです。けれど、誰かに受け入れてもらえ安心した経験は、他人に伝えることができます。自分を大切にすることは、ひいては他人を大切にすることにもなるのだ・・・ということに気付かされました。

自分が何を考え、本当に伝えたいことは何かを知り、そして時には、頑張ってる自分を褒めてみる・・・自分を再発見し、他人を思いやる優しい気持ちになれた講座でした。

(記：伊藤編集委員)

# デキる!男の料理教室

(1月26日 調理室)

《肉まんであつたまろう》

講師：王 明娟さん（鳥取県国際交流財団 国際交流コーディネーター）



## 参加者からの感想

- ★国際交流的要素があつてよかつたと思います。
- ★初めの方々と共同で作業することは、すばらしいと思う。
- ★大変参考になりました!
- ★外国人講師が良いですね。異文化理解につながります。

## 編集委員考察

「誕生日を知らない女の子」から  
DV・児童虐待について考える

「誕生日を知らない女の子」  
黒川 祥子（集英社）

厚生労働省によると、2012年度に全国の児童相談所が対応した児童虐待の相談件数は、64,807件で、統計を取り始めた1990年度以来増加の一途をたどっている。

著者は、「あいち小児保健医療総合センター」で虐待が人間の根幹を歪め損ねてしまう現実を知る。そして、虐待を受けたその後の子どもたちを児童養護施設、ファミリーホーム、里親等を訪れ、取材した。自分の誕生日を5歳まで知らなかった美由、虐待と発達障がい複雑にリンクしている雅人、自分の髪の毛の洗い方を知らない拓海と、子どもたちに会い、里親から話を聞きながら、一人ひとりの心の内に追っていく。実父から性的虐待を受けた沙織は親になった今、我が娘に暴力をふるってしまう自分を止めることができない。

“生きていてくれたのだから、生きていてよかつたと思える意味を、一人ひとり持ってほしい。そう思えるようにしていくのが、私たち大人の責任なのだ”と筆者は書いている。

私も自分なりの行動を起こしていきたい。

(記：岸本編集委員)

**【輝なんせ鳥取】**  
鳥取市男女共同参画センター

〒680-0022 鳥取県鳥取市西町二丁目311番地(鳥取市福祉文化会館内)  
TEL (0857) 24-2704 FAX (0857) 20-3052  
E-mail danjyo@city.tottori.lg.jp  
U R L http://www.city.tottori.lg.jp